

## 『《標準言語聴覚障害学》失語症学 第4版』正誤表

このたびは『《標準言語聴覚障害学》失語症学 第4版』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

第1刷（2025年11月15日発行）におきまして以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2026年1月30日作成 2026年5月12日更新

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1	112ページ 下から6行目	反響言語や <b>補充現象</b> などがみられることもある。	反響言語や <b>補完現象</b> などがみられることもある。	2026/1/30
1	297ページ 下から15行目 (a 日本語の統語理解障害の症状の10行目)	これにより、可逆文は非可逆文より、可逆文のうち <b>基本語順文はかきませ語順文より</b> 、理解が困難といった症状がみられる。	これにより、可逆文は非可逆文より、可逆文のうち <b>かきませ語順文は基本語順文より</b> 、理解が困難といった症状がみられる。	2026/5/12